

2018年12月23日(日)13時～17時

精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪(IPP0) シンポジウム

「個人分析・セラピー経験と逆転移の問題」

ごあいさつ

関西に精神分析的サイコセラピー訓練の拠点を作ろうと、各学派の人々が集って発足しました IPP0 は、現在 10 名の訓練生が、順調に訓練を進めています。皆様のお力添えに深く感謝申し上げます。

毎年開催しておりますシンポジウムの本年のテーマは、「個人分析・セラピー経験と逆転移の問題」といたしました。現代精神分析は、セラピストがセラピーの中で感じる情緒経験を把握することがクライアントや転移を理解するうえで必須であるという立場が主流になっています。この逆転移の活用は、セラピストによるクライアント理解が恣意的になり過ぎる危険性ととも、逆にセラピストが情緒に対して防衛的になり過ぎてしまう場合もあります。このように逆転移のワークがセラピーにおけるセラピストの主要なワークであると認識されるにつれ、分析訓練における個人分析／セラピー経験の意義に新たな光が当てられています。

本シンポジウムでは、飛谷渉先生、手塚千恵子先生、吾妻壮先生にご登壇いただき、それぞれ訓練経験の異なる、3 人の臨床経験豊かな分析臨床家に、この個人分析・セラピー経験と逆転移の問題についてそれぞれの経験をもとに話していただきます。そして指定討論として小林俊三先生に討議に加わっていただきます。後半は、分析的セラピーの事例をもとに、さらに逆転移の問題を深めていくことを目指します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪 (IPP0)

会長 手塚 千恵子

司会 平井正三 (御池心理療法センター/NPO 法人子どもの心理療法支援会)

13:00～14:30 「個人分析・セラピー経験と逆転移の問題」

話題提供 飛谷 渉 (大阪教育大学保健センター)
手塚 千恵子 (心理室森ノ宮)
吾妻 壮 (神戸女学院大学人間科学部)

指定討論 小林 俊三 (小林メンタルクリニック)

14:50～17:00 事例検討

コメント：飛谷 渉 / 手塚 千恵子 / 吾妻 壮

日時：2018年12月23日（日） 13時～17時

会場：エル大阪 南101

- 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300メートル
- 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500メートル
- JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850メートル

定員：50名

対象：IPPO正会員、IPPO準会員、
非会員の方（医師、臨床心理士、その他）
*参加は、事例に対する守秘義務を遵守できること
ができる方に限ります



受講費：IPPO正会員、準会員：無料 非会員：5,000円

申込み方法：郵便局の振込用紙の通信欄に「IPPOシンポジウム参加申込み」の旨ご記入いただき、①氏名（ふりがな）、②E-mail アドレス（携帯アドレス不可／はっきりとお書きください）、③電話/FAX 番号、④所属・職種を明記の上、下記の振替口座に、受講料をお振込みください。振込の確認をもって受付とさせていただきます。お振り込みいただいた受講料は返却いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

口座番号：郵便振替 00920-7-276014
加入者名：精神分析的セラピーインスティテュート大阪
*加入者名を記載する際にお間違えのないようご注意ください！！

申込締め切り：2018年12月16日（日）
（定員になり次第、締め切らせていただきます）

お問い合わせ：精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪 事務局
TEL/Fax：06-7162-6985 E-mail：ippo.office2017@gmail.com

精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪（IPPO）
〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目1番40号エスト・ニューヴォー201号 大阪心理臨床研究所内
URL：http://ippo2017.com/

IPPO 理事

- 手塚 千恵子（会長） 小林 俊三（副会長） 吾妻 壮 日下 紀子 館 直彦
近松 典子 辻河 昌登 津田 真知子 飛谷 渉 平井 正三